



Mitake
Sayaka
Salon

美竹清花さろん こけら落とし【第七夜】

務川慧悟 -Piano- サロンコンサート

2017年8月12日(土)

開場17:30 開演18:00

入場料 4,000円(全席自由席) * ワンドリンク付き(ペアでお申し込みの場合は7,000円)



Program * 曲目・演奏順は変更になる場合がございます。

バッハ：イタリア協奏曲 へ長調 BWV971

ラヴェル：ソナチネ

道化師の朝の歌

バラキレフ：イスラメイ～東洋風幻想曲(他)

Profile

務川慧悟(むかわ・けいご)

1993年生まれ。東京藝術大学1年在学中の2012年第81回日本音楽コンクール第1位受賞を機に本格的な演奏活動を始める。

2015年エピナル国際ピアノコンクール(フランス)第2位。2016年イル・ド・フランス国際ピアノコンクール(フランス)第2位。コープ・ミュージック・アワード国際コンクール(イタリア)ピアノ部門第1位、各部門優勝者によるファイナルにて聴衆賞を受賞。

2017年シャネル・ピグマリオン・デイズのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ作品全曲演奏」をメインテーマに、全6回のリサイタルを開催中。これまでに、日本各地、スイス、上海にてソロリサイタルを開催のほか、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、フランスにてロレーヌ国立管弦楽団、等と共演。ソロ、コンチェルト、室内楽と幅広く演奏活動を行うほか、「ピアノの本」において留学記、ヤマハHPにてコラムを連載するなど多方面で活動している。

現在、パリ国立高等音楽院に在籍。フランク・ブラレイ、上田晴子、テオトル・パラスキヴェスコ、横山幸雄の各氏に師事。

内に充滿しているエネルギーをもった“音”、そして完璧な演奏

わたしたちがピアノ演奏を聴くときは、おそらくその曲の全体、構成、テンポの移り変わり、各パーツとしてのメロディーを聴いているのではないのでしょうか。(これがアンサンブルともなれば、和音、ハーモニーも聴くことになる)決して個々の“音”ではないはずで、それが普通の聴き方ではないのでしょうか。

ところがそんな当たり前の聴き方ではなく“音そのもの”を聴くことの大切さを思い起こさせてくれる演奏家、それが務川慧悟というピアニストです。

務川慧悟さんは、きわめてすぐれた天賦の才にも恵まれているの

でしょうが、技術的に、演奏能力という点で、どんな難曲でも“完璧”—技芸に関してこのような表現は不適切なことを承知の上ですが—に弾きこなしてしまう恐るべきテクニックをそなえています。

それだけではなく、務川慧悟さんの演奏では、音が、外側の物理的空間に向かって拡散していくのではなく、内面に向かうエネルギーに充滿している個々の“音”といたらよいのでしょうか、そうした音を響かせながら、どんな難曲であってもテクニック的にも“完璧”な演奏を成し遂げてしまう、

それが務川慧悟という類い希なるピアニストです。(渡辺公夫)



●ご予約/お問い合わせ

株式会社ILA
(美竹清花さろん)

03-6452-6711 Webサイトからでもお申し込みいただけます。 <http://goo.gl/KtkmDS>